

「 限界突破キャンプ 」

～今年の夏は新たな自分と出会える～

1. 趣旨

7泊8日の移動型キャンプで、登山・自炊などの活動を、仲間と共に、最後までやり抜くことを通して、何事にも自信を持って取り組める力を育む。

2. 事業の概要

(1) 期日

事前キャンプ 平成30年7月15日(日)～16日(月)(1泊2日)

本キャンプ 平成30年8月4日(土)～11日(土)(7泊8日)

(2) 参加者

①参加対象 小学校5、6年生 中学校1、2年生

②参加人数 21名 (応募総数28名)

群馬県前橋市8名、桐生市3名、榛東村2名、高崎市1名、吉岡町1名、みどり市1名、みなかみ町1名、東京都町田市1名、埼玉県久喜市1名、千葉県柏市1名、栃木県栃木市1名

3. 企画運営のポイント

- ①登山をメインとしたプログラムで、長七郎山・黒檜山・駒ヶ岳・鍋割山・榛名富士の6つの山を登り、赤城山から榛名山まで徒歩で移動する。(総距離約70km、標高差約3,000m)
- ②生活体験を重視し、自分のことは自分でやることを徹底する。
- ③毎晩振り返りシートで、テーマ「挑戦・協力・感謝」を意識させながら振り返りを行い、自分と向き合う時間を十分にとる。
- ④生活面においては、「あいさつ・食事・うんち」の3つのテーマで基本的な生活態度を養い、規則正しい生活を送れるようにする。
- ⑤ボランティアの事前研修(7/7-8)で、安全管理も含めた登山講義や実地踏査を実施する。

4. 日程

日程概要	プログラム	宿泊場所
7/15(日) 事前キャンプ1日目	アンケート、仲間作り(AAP)、 スプーン・フォーク作り	国立赤城青少年交流の家
7/16(月) 事前キャンプ2日目	テント設営研修、野外炊事研修	
8/4(土) 1日目	開校式、仲間作り(アイスブレイク)、 テント設営、野外炊事、登山講義	国立赤城青少年交流の家
8/5(日) 2日目	長七郎山(1,579m)登山	前橋市赤城少年自然の家
8/6(月) 3日目	黒檜山(1,828m)・駒ヶ岳(1,685m)登山	前橋市赤城少年自然の家
8/7(火) 4日目	これまでの振り返り、フォトフレーム作り 1日3食完全自炊 ※地蔵岳日の出登山、洗濯は雨のため、中止。	前橋市赤城少年自然の家
8/8(水) 5日目	自然の家～鍋割山(1,332m)登山～交流の家	国立赤城青少年交流の家
8/9(木) 6日目	交流の家～榛東村創造の森キャンプ場(24km)	榛東村創造の森キャンプ場
8/10(金) 7日目	榛東村創造の森キャンプ場～榛名富士(15km) 榛名富士(1,391m)登山～交流の家	国立赤城青少年交流の家
8/11(土) 8日目	振り返り(アンケート)、閉校式	

5. 主な活動内容



仲間作り



長七郎山1579m



黒檜山1828m



駒ヶ岳1685m



これまでの振り返り



鍋割山1332m



榛東村創造の森キャンプ場



榛名富士1391m

6. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

満足 20名 (95%) やや満足 1名 (5%) やや不満 0名 不満 0名

(2) 参加者の声

- ・登山はつらくて大変でしたが、頂上に着いたときの景色がきれいで、足の痛みを忘れてしまいました。
- ・黒檜山を登った時に、岩がたくさんあって大変だったけど、山頂についた時にとっても達成感があった。
- ・鍋割山の登山はきつかったけど、雲海を見ることができ、とてもよかった。
- ・友達と協力することの大切さを知ることができたので、これからの生活では、友達とたくさん協力して、もっと良い仲にしていきたいと思いました。
- ・規則正しい生活をすることで、生活習慣がもっとよくなると思いました。
- ・これからは何事にもあきらめない。
- ・限界突破キャンプに参加して、これから何でも新しいことに挑戦すること、仲間と協力すること、人に感謝することができる人になりたい。

(3) 成果

- ①「あいさつ・食事・うんち」の3つのテーマを掲げたことで、特にあいさつができるようになった。
 - ②登山講義や登山中での実際の登山の仕方を指導することで、参加者が安全に登山をすることができた。
- ※アンケートの調査結果（自己実現的態度・援助要請スキル尺度）が出次第、年度末に公表する。

(4) 課題

- ①キャンプのテーマを設け、キャンプ後にはテーマに沿った変容が見られるようにプログラム内容を見直していく。
- ②詳細な雨天時プログラムを、次年度は作成する。
- ③今夏の猛暑のことを考えると、熱中症など懸念事項が生じるおそれがあるため、次年度は公道を歩く行程について検討する必要がある。

担当 企画指導専門職 小倉 祐司